

柏西ロータリークラブ

創立：1975年11月 7日

承認：1975年11月24日

四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるか？



第1785回通常例会(2012.11.16)

会長：増谷 信一 幹事：升谷 庸

■柏西ロータリークラブURL:<http://kashiwa-nishi-rc.com/>■第2790地区ロータリークラブURL:<http://www.rid2790.jp/2012/>

通常例会

- | | | |
|---------|-------|----|
| 1. 点 鐘 | 増谷 信一 | 会長 |
| 1. 会長挨拶 | 増谷 信一 | 会長 |
| 1. 幹事報告 | 升谷 庸 | 幹事 |
| 1. 卓 話 | 鈴木 桂三 | 会員 |
| 1. 点 鐘 | 増谷 信一 | 会長 |

会長挨拶

会長 増谷 信一



皆様、こんにちは。

今日はお忙しい中、中村様ようこそ柏西ロータリークラブにお越し下さいました。中村様、来年の2月の卓話どうぞ宜しくお願いします。

先週は、第1回インターゴルフお疲れ様でした。又、優勝をされました金本さんおめでとうございます。そして担当を下さいました、水野副委員長・杉山親睦委員長並びに委員会の皆様、夜間例会を含めてご協力をして頂き大変ありがとうございました。次回の第2回インターゴルフは、6月中旬に親睦

旅行を兼ねて開催したいと考えております。ゴルフ組と観光組とを企画しますので、是非一人でも多くのご参加をお待ちしております。

さて、おとといの11月14日にロータリーの地区大会の行われた時と同じ会場の森のホール21にて榊さんが柏地区保護司会会長をされております、千葉県の大大会が行われました。正式には、「第56回千葉県厚生保護大会」です。その式典で、柏西ロータリークラブが【千葉県保護観察所長感謝状】を受賞致しました。そして、私が柏西クラブの代表で頂いて参りました。これは、当クラブが長年に渡り「社会を明るくする運動」を通して賛助金を出していたからでございます。長期的な支援がここで認められた事になります。これからも、支援を続けて行きたいと考えております。榊会長ありがとうございました。

さて今日も何の日特集を行います。今日は、11月16日金曜日です。今日は、教育特集で行きます。

◎1874年11月16日(今から138年前)ドーラ・E・スクーンメーカー氏が学校法人青山学院の前身である「女子小学校」を創設しました。又、この同じ年には。

・1月に東京芝の増上寺が火災で焼失。

・7月に三宅島の噴火。

・11月に銚子の犬吠埼灯台が点燈を始めました。

1874年は、このような出来事があった年でした。

◎1876年11月16日(今から136年前)東京女子師範学校附属幼稚園(現お茶の水女子大学附属幼稚園)が開園。日本初の官立幼稚園になりました。同じく、この1876年には。

・2月に東海道線〔大阪→京都〕間が開通。

・5月に上野動物園が開園。

等々1876年は、このような出来事があった年でした。

今日はもう一つございます。

今日16日、野田内閣の衆議院議員解散の日です。

以上、今日は何の日特集でした。

それでは、今日の例会は「ロータリー財団月間」に因んで、鈴木桂三会員(ロータリー財団委員長)に卓話をお願いしております。よろしくお願ひ致します。

以上で、会長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 升谷 庸

1. 柏東ロータリークラブより
会長・幹事へ『クリスマス家族例会』のご案内
日時：12月23日(日)18:00より
場所：ザ・クレストホテル柏
会費：10,000円
2. 受信 ポコアポコ通信15号

例会日/金曜日 12:30~

例会場/ザ・クレストホテル柏

〒277-0842 柏市末広町14-1

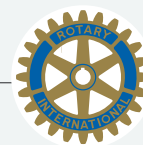
TEL.04-7146-1111 FAX.04-7146-2100

事務所/〒277-0011 柏市東上町7-18

柏商工会議所会館 505

TEL.04-7162-2323 FAX.04-7166-8282

E-mail:kashiwanishi@io.ocn.ne.jp





感謝状

柏西ロータリークラブ 殿

あなたは罪を犯した人の改善
更生と地域社会の浄化のため
更生保護事業に協力されその
功績はまことに顕著であります
よってここに感謝の意を表します

平成三十四年十一月十四日

千葉保護観察所長 青木 信人



千葉県保護観察所長感謝状

卓話

ロータリー財団委員長 鈴木 桂三

こんにちは。ロータリー財団委員会の鈴木です。11月はロータリー財団期間ですので、それに因んだ話をしたいと思います。

まず最初にロータリー財団の歴史について軽く触れてみたいと思います。

1917年、アーチ・クランフの提唱により、1928年の国際大会でロータリー財団と名付けられました。アーチ・クランフが財団設立時に述べた言葉「世界でよいことをしよう。Doing good in the world」が今でも財団の標語として受け継がれております。又、その使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通して、世界理解、世界親善、世界平和を達成できるようにすることですとあります。

ロータリー財団の正式名称は、国際ロータリーのロータリー財団です。国際ロータリーは世界中のロータリークラブの集合体でありますから、私たちの個別のロータリークラブのロータリー財団である

とも言える訳です。国際ロータリーもロータリー財団も一体のものです。両者とも奉仕の理想（ロータリーでいう奉仕の理想とは、他の人々のことを思いやり、その人々の役に立つこと）のもとに活動しております。そしてロータリアンやより良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々から自発的寄付を管理運営するのがロータリー財団であります。国際ロータリーのロータリー財団と言われる所以でもあります。国際ロータリー自体は奉仕活動をするための財源は持っておりません。又ロータリー財団が国際社会で奉仕活動をするには、どうしても資金面の援助が必要です。例えば、米山奨学会に誰も寄付をしなければ、米山奨学金事業はできません。同様にロータリー財団に誰も寄付をしなければ、奉仕の理想を信奉して活動する国際ロータリーも個々のロータリークラブもその存在意義を失ってしまい、ただの親睦団体になってしまいます。



次にロータリー財団への寄付について説明していききたいと思います。ロータリー財団への寄付には、大きく分けて3つの種類があります。第一に年次基金への寄付です。用途を決めない、ごく一般的な寄付、今、当クラブでも実施しております「毎年あなたも100ドルを」の寄付がこれに当たります。

第二番目に恒久基金への寄付、元金は使わず、投資された運用益だけを財団プログラムの支援等に使う寄付です。今現在7億900万ドルになっております。そして2025年には10億ドルを目指しております。

ここでみなさんに御紹介したい手紙があります。今年の5~6月頃にビル・ボイド財団管理委員長さんから頂いた手紙です。その中にはこんなことが書かれておりました。読み上げてみたいと思います。

1948年の講演でミッチェル元会長がこんなことを言ったそうです。ユダヤ教聖典の逸話を引用し、ロータリー財団の未来の種と言える恒久基金の重要性を如実に物語りました。

古代の学者ホニ・ハマアゲルは、イナゴ豆の木を植えている老人に出会いました。その木はいつになったら実をつけるのか訪ねると、老人は「70年後」であると言います。ハマアゲルは「70年も生き延びて、その実を食べようと思っているのですか」と問いました。すると老人はこう答えました。「私がこの世に生まれた時、大地は豊かでした。私の生まれる前から、先人たちが育ててきてくれたからです。だから私も後生のために木を植えるのです。」

恒久基金の必要性を見事に表現していると思いませんか。因みにイナゴ豆とは、地中海地方原産のマメ科、10数メートルに成長する常緑高木で、その種子が重さ200mg前後で、これが1カラット=200mg=0.2gとして宝石の重量の単位として現在も用いられています。

三番目にポリオプラスに代表されます用途指定寄付です。

現在、インドがポリオ常在国から外れまして、常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの三ヶ国だけになりました。今現在、世界ポリオ撲滅推進計画が進んでおります。世界保健機関（WHO）、国際ロータリー米疾病予防管理センター（CDC）、ユニセフが共同して主導する活動です。

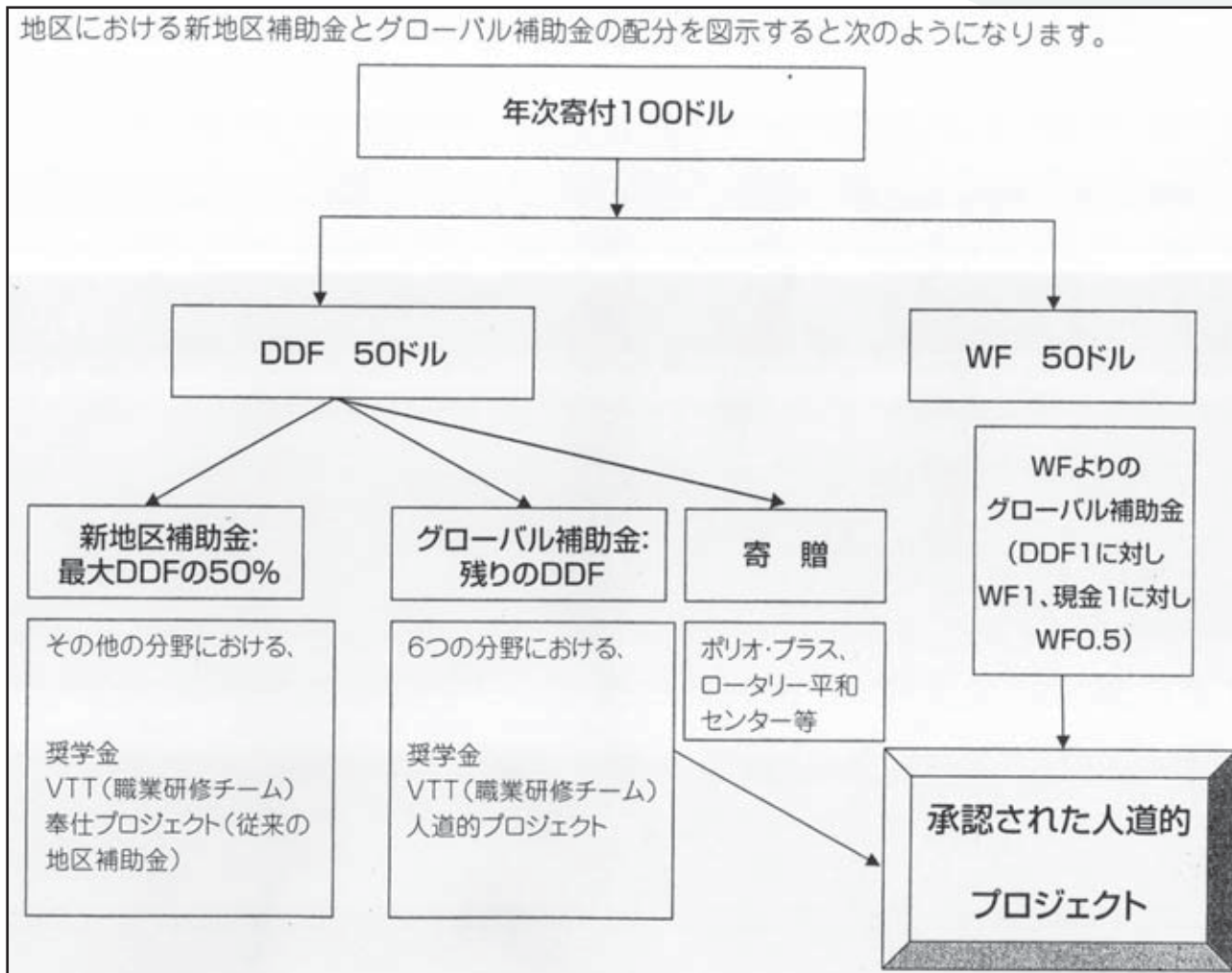
ロータリーは今までに12億ドル以上をポリオ撲滅に投入してきました。そして国際ロータリーは世界ポリオ撲滅推進計画に対して、今後3年間に7500万ドルを寄付することを誓約しました。ポリオ撲滅活

動には、現在9億4500万ドルという深刻な資金不足による不安を抱えております。資金不足で予防接種キャンペーンが中止に追い込まれる事態も発生しています。今年のポリオ発症数は今まで最も少ない140件であります。もう少してポリオ撲滅ができる所まで来ております。いくら寄付してもキリが無いと感じる方も多いと思いますが、ポリオの常在国は紛争地帯であったり、僻地だったりします。又、宗教上の理由でワクチン投与を拒む人もいます。更にポリオの収まった地区でもワクチンの投与を続けなければなりません。ポリオ撲滅はロータリーの最優先項目でもあります。少しでもポリオ撲滅活動の手を緩めると、今までの努力が水泡に帰することになってしまいます。ロータリーの総力を上げてポリオ撲滅への御協力をお願いします。

最後になりますが、来年度からいよいよ未来の夢計画が実施されます。私達が財団へ寄付した年次基金寄付の半分と恒久基金寄付の運用益の半分が三年後に地区へ戻されます。地区に戻される分はDDF（地区財団活動資金）と呼ばれ、残り半分はWF(国際財団活動資金)と呼ばれます。来年度から大きく変わるのがDDFの方で、今までは地区の裁量で全て使うことができましたが、来年度からはDDFの半分が（全体の寄付の1/4）新地区補助金と呼ばれ、地区が従来と同様に使うことが出来る分と残り半分がグローバル補助金と呼ばれます。グローバル補助金はロータリーの6つの重点分野に限られ使うことができます。6つの重点分野とは、①平和と紛争予防／紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率の向上 ⑥経済と地域社会の発展です。そして尚且つ持続可能なプログラムに限られます。よりロータリー財団の使命に沿ったプログラムに限定されたものになってきました。



地区における新地区補助金とグローバル補助金の配分を図示すると次のようになります。



12月の行事予定

■12月7日(金)【通常例会】-お祝い事・理事会-
卓話=3分間スピーチ

■12月21日(金)【通常例会】
卓話= 双日総研所長 吉崎達彦様

■12月14日(金)【通常例会】
□年次総会=次年度会長 役員・理事の承認
□第三回クラブ協議会=五常任委員長
上期活動報告

■12月28日(金)【休 会】任意

ニコニコ BOXありがとう!

★ 本人誕生日
木村

★ 結婚記念日
中嶋、田代(充)

★ 写真ありがとう
鈴木(子郎)、森市、馬場、
日暮、湯浅、中嶋

出席報告

会員数	56名
欠席者	10名

太田、小澤、勝田、金子、後藤、佐藤、
染谷、塚本、長瀬、富士川 各会員

出席率 82.14%

次回の例会は**11月30日(金)** 通常例会です。
クラブ会報委員/東海林 康之・湯浅 千晶・村田 善郎・小阪 博司

欠席報告は、水曜日の正午まで
※食事の無駄をなくす為に協力して下さい。
クレストホテル 04-7146-1111まで

